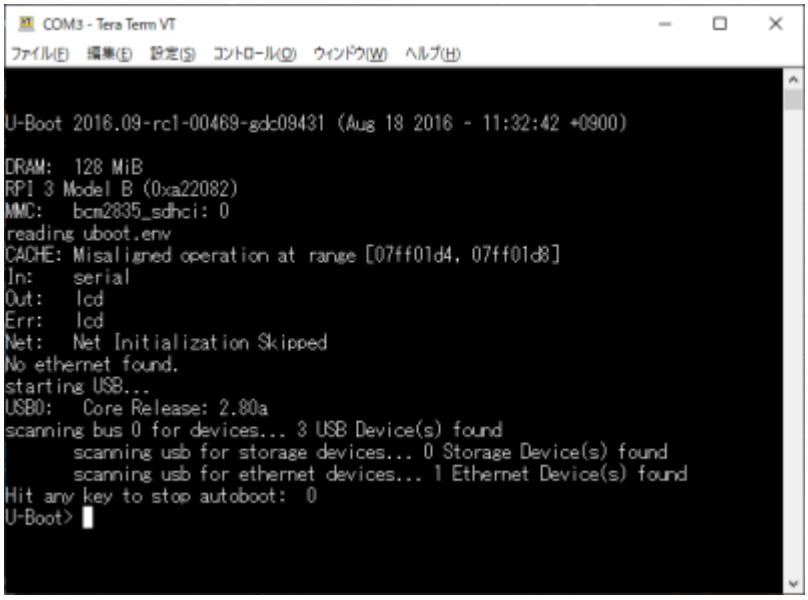
Tera Term

「Tera Term」はオープンソースで開発されているWindows用の通信ソフト。



インストール

下記URLからインストーラを入手しインストール（基本新しいバージョンのものを使う）

<https://ja.osdn.net/projects/ttssh2/>

起動オプション

[ヘルプ(H)] > [目次] > [コマンドライン] > [Tera Term] を参照Windowsからはショートカットをディスクトップなどに作って設定しておくと便利。

COMポートの指定

COM3ポートの場合は「/C=3」のように指定する。（ショートカットのプロパティーに記述）

- COM1の場合でも「/C=1」を指定しておくと接続先ダイアログが表示されないので便利。

ファイル転送用ディレクトリの指定

/FD=<file transfer directory>」のように指定する。（ショートカットのプロパティーに記述）

- T-kernelデバッグ時は「/FD=C:\work\t-kernel\tkernel_source\bin\rpi_bcm283x」のように指定しておくと便利。

Telnet通信で使う

「telnet://192.168.1.1 /T=1」のように指定する。（ポート指定しない場合は標準の23番ポートに接続）

設定

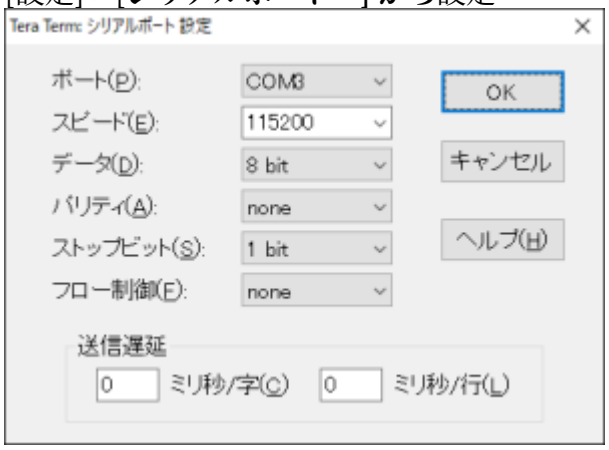
設定メニューで変更した設定は、[設定] > [設定の保存…] を実行すると覚えてくれる。

画面サイズ変更

[設定] > [端末] > 「端末サイズ」 で設定

通信ボーレート変更

[設定] > [シリアルポート…] から設定



ファイル送信

無手順で送信

[ファイル(F)] > [ファイル送信(S)...] から送信するファイルを選択

XMODEMで送信

[ファイル(F)] > [転送(T)] > [XMODEM] > [送信…] から送信するファイルを選択

Kermitで送信

[ファイル(F)] > [転送(T)] > [Kermit] > [送信…] から送信するファイルを選択

設定ファイル

C:\Program Files (x86)\teraterm\TERATERM.INIで様々な設定ができる。

Kermit転送でファイル属性情報（タイムスタンプなど)を扱う

KmtFileAttr=onとする（デフォルトはoff）

- Ver4.102以前では、ファイル送信時のタイムスタンプは、ファイルプロパティーで確認できる「作成日時」（更新日時ではない）が通知されるので、Ver4.103以降を使う。

Kermitのログを記録

KmtLog=onとする（デフォルトはoff）

- ログファイルは、C:\Users\<ユーザ名>\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\teraterm\KERMIT.LOG に格納される。

参考

1. Tera Term Home Page
2. 「Tera Term」v4.103が公開 ～高DPIサポートを試験的に追加

From:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/ - **新石器Wiki**

Permanent link:
https://www.yokoweb.net/dokuwiki/software/windows/teraterm

Last update: **2026/07/28 13:16**